

学校教育目標  
**かがやけ篠三っ子**  
 かんがえる子  
 がんばる子  
 やさしい子  
 けんこうな子

○東京都教育ビジョン  
 (第4次)  
 ○江戸川区教育目標  
 『こころ豊かにたくましく  
 教育の江戸川区』

○学校経営方針  
 ・社会性と国際的な視野  
 をもつ児童の育成  
 ・伝統と文化を尊重し、人  
 間性豊かな実践力のある  
 児童の育成

### 教師の願い

○学ぶ楽しさを知ってほしい。自ら考える力を  
 身に付けさせたい。  
 ○互いに学び合い、認め合う態度を育てたい。

### 児童の実態

○学習しようとする意欲は高いが、自ら学ぶ習  
 慣が十分身に付いていない。  
 ○自分の考えに自信がもてなかったり、深まっ  
 ていなかったりして、すすんで発言ができない。

### 研究主題

**自ら考え、学び合う児童の育成**  
 ～伝え合うことが好きになる言語活動の工夫～

### 目指す児童像

|     |  |
|-----|--|
| 低学年 | 自分の思いをもち、相手の思いを受け止めて伝え合うことができる児童       |
| 中学年 | 自分の思いや考えをもち、相手を尊重し、伝え合うことができる児童        |
| 高学年 | 自分の思いや考えをもち、互いを尊重し、すすんで伝え合うことができる児童    |
| 専科  | 自分の思いや考えをもって表現し、伝え合うことを楽しむことができる児童     |
| はこべ | 自分の思いや考えを伝えたり、相手の思いや考えを理解したりすることができる児童 |

### 研究仮説

児童の実態に合った言語活動を工夫することによって伝え合うことが好きになり、自分の考えに自信をもって発言したり、相手の考えを肯定的に受け止めて学び合ったりすることができるようになるだろう。

### 主題に迫る手立て

- 児童の実態をつかむため、1学期と3学期にアンケートを実施する。
- アンケートの結果を踏まえた言語活動を工夫し、取り入れる。
- 学び合うとは、相手の考えを理解し、尊重して伝え合う姿と捉える。

- ・実践と理論の統合を目指して → 年5回の校内研究授業と3回の研究全体会
- ・協議会の工夫 → 個人で意見を出しやすくするために、話し合いたいテーマについて小グループで話し合い、解決策を探る。